

受験地は願書受付後に変更できません。
 予定を十分に確認の上、選択して下さい。

「現場調査部門」

受験地	大阪	※	※	現場調査部門
主な調査対象 ※いずれか1つを○で 囲んでください	土質・岩盤	地区協会 理事長印	受験 番号	
私は地質調査技士資格検定試験を受験いたしたく地質調査技士資格検定試験規程第6条に基づき写真及び関係書類を添えて申し込みます。 ****年 4月 25日 氏名 地質 太郎 一般社団法人 全国地質調査業協会連合会 殿				
ふりがな 1. 氏名	ち し つ た ろ う 地質 太郎	男 女	年 令	試験日で 昭和 〇〇年 〇〇月 〇〇日生 平成
2. 現住所 電話番号	(〒 -) 大阪 都道府県 大阪市西区中央町1-5-16 寿荘 電話番号1: (06) 1234 - 5678 ※電話番号1・2とも必ず記入して下さい 電話番号2(本人以外): (090) 8765 - 4321 続柄(母)			
3. 所属機関 (現在所属している会社について記入して下さい)				
名称	全国地質調査株式会社 ※直接に雇用契約を結ぶ会社について記入して下さい(いわゆる親会社の記入は不可)	登録 番号	(地質調査業者登録をしている場合) 質 25-1234	
住所	(〒 -) 大阪府大阪市西区靱本町1-15 通商ビル	電話	(06) 6441-0056	
4. 学歴 (最終学歴を記入して下さい)				
学校名 学部 学科名等	三池工業高等学校 土木工学科	卒業年月 昭和 平成 令和 〇〇年 3月 卒		
※最終学歴が大学院、または、学校教育法における学校(中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校)以外の場合、最終学歴の一つ前の学歴も記入して下さい。		卒業年月 昭和・平成・令和 年 月 卒		
5. 受験資格	該当する受験資格の番号を○でかこんでください ※受験資格の詳細は受験手引きを参照 1. 実務経歴5年以上 2. 指定学科を卒業(実務経歴3年以上) ※受験手引き P2(1) 2)に該当			
6. 受験料振込	振込手続日 4月15日 振込依頼人名 全国地質調査(株) (受験者名と異なる場合、記入して下さい)			

- ・受験の手引き(2ページ～)をよく確認の上、記入して下さい(※印欄は記入しないこと)。
- ・卒業年月や勤務経歴などの暦の記入は、各項目で指定する和暦または西暦に従い記入して下さい。
- ・受験願書類はクリップで留めた上、提出して下さい。

※和暦の簡易表示：昭和-S、平成-H、令和-R

7. 勤務経歴		
期 間 (和暦)	勤務先名 (部課名まで記入して下さい)	業 務 の 内 容
H28年 4月 1日から H29年 3月 31日まで	横堀ボーリング株式会社 調査部	現場試錐員
H29年 4月 1日から 年 月 日まで	全国地質調査業株式会社 土木部	現場試錐員及び試験室試験員
年 月 日から 年 月 日まで		
年 月 日から 年 月 日まで		
年 月 日から 年 月 日まで		

8. 講習会 (研修) 受講調べ			※受講加点制度の講習会のみ記入
受 講 期 間 (和暦)	講習会名称・受講場所	修了書番号	
R5年 5月 17日から 5日間	地質調査技術者入職時教育 富士教育訓練センター	第102号	
R6年 6月 19日から 2日間	検定試験事前講習会 天満研修センター	受講予定	
年 月 日から 日間		注：受講調べに記入する講習会は、受験の手引に記載する対象講習会のみです。	
年 月 日から 日間			
年 月 日から 日間			

9. 実務経歴				※○囲みの「助手・機長」は、機長と同等の役割の場合には「機長」を○で囲んで下さい。
調査期間(和暦)	○囲み	発注者(上段)及び調査名(下段)	所属機関名(会社名)	
H28年 6月 から 40日間	助手 機長	新東京国際空港公団 貨物ターミナル地質調査	横堀ボーリング(株)	
H29年 8月 から 30日間	助手 機長	日本道路公団東京第一建設局 常磐自動車道(日立地区)地質調査(その2)	全国地質調査業(株)	
H30年 4月 から 365日間	助手 機長	試験室 試験員	同上	
H31年 8月 から 20日間	助手 機長	宮城県港湾局 6号地木材埠頭地質調査	同上	
H31年 10月 から 40日間	助手 機長	秋田市水道局 東淀川3丁目地質調査	注：実務経歴 記入のポイント ・年4～5件を目安に記入。 ・なお、勤務期間が長く、経歴が多い場合は、比較的最近の年次の経歴は2～3件/年程度、それ以前の年次は最低でも1件/年は記入。 ※記入件数が少ない場合、申告の経験年数を減ずるなどの措置をとり、受験資格の有無等を判断します。	
H31年 12月 から 40日間	助手 機長	農林水産省東北農政局西部農 福島北部農業水利事業吉田		
R2年 4月 から 25日間	助手 機長	山田共同コンサルタント(株) 金剛東地区明治池かんがい用土質調査		

※和暦の簡易表示：昭和-S、平成-H、令和-R

R2年 7月 から 20日間	助手 機長	農用地開発公団	全国地質調査(株)
		飯橋南部区域地質調査	
R2年 10月 から 30日間	助手 機長	日本鉄道建設公団東北新幹線建設事務所	同上
		東北新幹線仙台～本町間地質調査(その33)	
R3年 1月 から 40日間	助手 機長	住宅都市整備公団仙台支社	同上
		東仙台ニュータウン亀岡地区地盤調査	
R3年 5月 から 30日間	助手 機長	建設省東北地方建設局	同上
		島田峠道路改良に伴う地質調査	
R3年 8月 から 20日間	助手 機長	農林水産省	同上
		広野原開拓建設事業赤田調整池地質調査	
R3年 10月 から 22日間	助手 機長	難波工務店	同上
		御堂筋広域宅地開発 サウンディング調査	
R4年 2月 から 15日間	助手 機長	青森市新都市建設公社	同上
		青森市長渕友田付近 地質調査	
R5年 6月 から 35日間	助手 機長	関西電力株式会社	同上
		福井第二原子力3号機地質調査	注：件名が工事名や設計名の場合、実施した地質調査業務の内容を、以下を参考にして書き加えてください。
R4年 8月 から 20日間	助手 機長	鳥取県	
		国道364号道路改良工事(調査ボーリング4本、孔内透水試験等を実施)	
R4年 9月 から 30日間	助手 機長	島根県企業庁	同上
		東北部水道用水供給事業土質調査	
R4年 11月 から 40日間	助手 機長	山口県	同上
		高游原地区かん排事業3号土質調査	
R5年 1月 から 30日間	助手 機長	中国電力(株)北部送変電建設所	同上
		上郷線延長工事に伴う地質調査工事	
R5年 3月 から 20日間	助手 機長	(株)岡山都市開発コンサルタンツ	同上
		岩岡霊園造成地土質調査	
R5年 5月 から 15日間	助手 機長	大阪市	同上
		大阪市文化会館敷地ボーリング調査	
R5年 7月 から 15日間	助手 機長	兵庫県新沼下水道事務所	同上
		新沼流域下水道西部幹線地質調査	
R5年 8月 から 30日間	助手 機長	和歌山県	同上
		子撫川地すべり対策調査委託	
R5年 10月 から 20日間	助手 機長	奈良県	同上
		県営ため池等整備事業吉田用水路調査業務	
R6年 4月 から 20日間	助手 機長	京都府	同上
		主要幹線道路朝月平尾線ボーリング調査	

注：土質試験室や宅地等サウンディングは実務経験年数に含むことはできません。
受験手引き（6 ページ⑭）を参照ください。

※受験番号 現場調査部門

10. 実務経験年数	満 8 年 0 カ月	※ 満 年 カ月
11. 主として従事したボーリング (○で囲んでください)	軟弱地盤の基礎、ダム、トンネル、地すべり、鉱床、地下水、温泉 その他 ()	
12. 地質調査技士 登録番号	第 号 (当初登録年月日(西暦) 年 月 日)	注：地質調査技士の資格を保有されている方（今回受験する以外の部門資格を保有の方）は、登録番号を記入してください。

※「12. 地質調査技士 登録番号」欄は、今回受験する部門とは異なる部門の地質調査技士資格を保有されている方、または過去に資格を取得し失効された方のご記入ください。

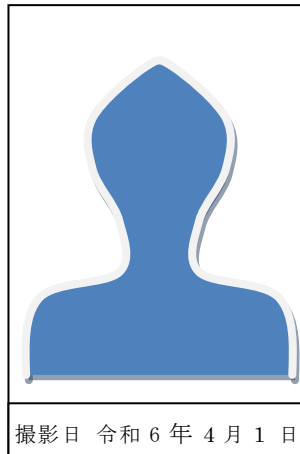
令和6年度 地質調査技士資格検定試験

「現場調査部門」

受験用写真の添付

ふりがな 氏名	ちしつ たろう	男 → 女
	地質 太郎	

※受験用写真の裏面には必ず氏名を記入の上、台紙に張り付けてください



受験用写真については、令和6年2月1日以降に撮影したものを使用してください。
また撮影する写真は、上半身正面、無帽背影なし、サイズは縦5cm、横4cm程度とします。
なお、提出した受験用写真は合格時の登録証の顔写真にも使用されます。

令和6年度地質調査技士資格検定試験 実務経歴証明チェックリスト

※詳しくは受験手引き6ページ⑩をご確認ください。

(証明者の方へ)

- ・証明者は原則として代表取締役等の代表者となります。ただし、その代理として受験申込者の人事権を有する方（人事部長、支店長等）も証明者として認められます。
- ・以前勤務していた会社等の実務経歴も含め、現在の勤務先の代表者等の証明とします。この場合は、以前の実務経歴について内容等を十分に確認してください。

(受験申込者の方へ)

- ・転職等により、複数の組織に所属していた場合は、当時の勤務先の証明をすべて取り付けることを原則とします。その場合、本チェックリストをコピーし使用してください。

(受験申込者自身が代表者（経営者）の場合)

- ・役職名欄には、自身が代表者であることがわかるよう、必ず「代表者」と記入してください。
- ・証明者との関係欄には「本人」と記入してください。

次の（受験申込者）の実務経歴について、チェックリストを確認し、記載に間違いがないことを証明します。

一般社団法人 全国地質調査業協会連合会 殿

令和6年 月 日

(証明者) ※本欄は社判の押印でも可

(受験申込者)

会社名又は氏名 全国地質調査株式会社

氏名 地質太郎

〒0000-0000
所在地 大阪府大阪市西区鞆本町1-15 通商ビル

生年月日 〇〇年〇〇月〇〇日

〒0000-0000
役職名 代表取締役社長

〒0000-0000
現住所 大阪市西区中央町1-5-16 寿荘

氏名 全国 二郎

証明者との関係 社長と社員

項番	本人 チェック	証明者 チェック	項目
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	受験願書「9.実務経歴」に記載された実務経歴の内容は、下表Aの「記入する主な実務経歴の内容」に間違いがない。
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	受験願書「9.実務経歴」に記載された実務経歴の調査期間は、受験者が実際に業務に従事した期間が正しく記載されている。
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	受験願書「10.実務経験年数」に記載された内容に間違いがない。
4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(証明者が過去の勤務先の実務経歴や調査期間などを証明する場合) 上記の項番1,2,3に含まれる過去の勤務先の実務経歴などについても間違いがない。

表A

受験する部門	記入する主な実務経歴の内容
現場調査部門	地質調査を目的としたボーリング機器等の操作に関する実務経歴
現場技術・管理部門	地質調査を目的とした調査・計測業務、現場技術管理業務等に関する実務経歴